



令和6年4月5日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST） 次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援） 令和6年度新規プロジェクトの決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」における新規プロジェクト29件を決定しました（別紙1）。

本事業は、緊急性の高い国家戦略分野として、次世代AI分野（AI分野及びAI分野における新興・融合領域）を設定し、同分野に資する研究に取り組もうとする博士後期課程学生に対して、十分な生活費相当額（研究奨励費）及び研究費を支援することで、当該国家戦略分野の研究者層を厚くし、イノベーション創出や産業競争力を強化することを狙います（参考）。

今回の公募は、令和6年1月25日（木）から2月26日（月）まで行い、外部専門家で構成された委員会による審査（別紙2）を経て、29件の支援プロジェクトを決定しました。

詳細については、下記ホームページをご覧ください。

ホームページURL：<https://www.jst.go.jp/jisedai/index.html>

<添付資料>

別紙1：「次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」採択プロジェクト・事業統括一覧

別紙2：「国家戦略分野の博士後期課程学生の育成事業」運営委員会 委員一覧

参 考：「次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」公募概要

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 助成事業推進部

〒102-0081 東京都千代田区四番町4番地2

今津 杉子（イマヅ スギコ）、正木 法雄（マサキ ノリオ）

E-mail：boost-s-application@jst.go.jp

※お問い合わせは電子メールでお願いします。

＜科学を支え、未来へつなぐ＞

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

「次世代A I人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」
採択プロジェクト・事業統括一覧

（大学名五十音順）

大学名	事業統括	プロジェクト名
大阪公立大学	宮本 貴朗	「際を究めて核を研ぐ」次世代学際A I・基幹A I人材育成の国際連携プログラム
大阪大学	原 隆浩	新興・融合研究を推進するマルチスタックA I人材育成プロジェクト
岡山大学	阿部 匡伸	地域企業のDX化を牽引（けんいん）する実践力を重視したA I人材の継続的育成
お茶の水女子大学	小林 一郎	異種専門知識の融合と価値観の多様性に基づく次世代A I開発人材の育成
金沢大学	佐藤 賢二	金沢大学A I Open Science 基盤の知識循環が可能にする先駆的A Iクロスオーバー博士人材育成プロジェクト
九州大学	内田 誠一	「基盤」と「応用」の相乗効果で未来を拓（ひら）く高度A I人材育成プログラム
京都大学	平島 崇男	京都大学大学院教育支援機構（D o G S）次世代A Iプログラム
熊本大学	高島 和希	A I分野を先導する異分野融合型グローバル博士人材育成プログラム（G u i d e 4 A I）
慶應義塾大学	杉浦 孔明	未来のコモンセンスをつくる国際的A I先導人材の育成
神戸大学	玉置 久	異分野協働・共創による次世代A I卓越博士人材育成プロジェクト
信州大学	香山 瑞恵	サステナブル・ソサイエティA Iプロジェクト：知識と技術の調和に向けた挑戦
総合研究大学院大学	山本 智	先端学術研究を通じた次世代A I博士人材の実践的育成
千葉大学	塩田 茂雄	A I特化型・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクトーA Iコア
筑波大学	鈴木 健嗣	学際的次世代A Iイノベーション人材育成プロジェクト

電気通信大学	南 泰浩	電通大次世代A I 人材育成プログラム
東京医科歯科大学	清水 秀幸	TMDU トップレベルA I 研究のための共創型エキスパート人材育成プログラム
東京工業大学	小野 功	Tokyo Tech トップレベルA I 研究のための共創型エキスパート人材育成プログラム
東京大学	鶴岡 慶雅	次世代知能社会を先導する高度A I 人材育成プロジェクト (BOOST NAIS)
東京都立大学	堀田 貴嗣	次世代A I を志向した領域リフレーミング (Arena Reframing: AR) 双対型博士人材育成プロジェクト
東京農工大学	斎藤 広隆	尖端研究により未来社会を創生する次世代A I 博士人材育成プログラム
東北大学	山口 昌弘	東北大学高等大学院次世代A I 人材育成プロジェクト
名古屋大学	井手 一郎	TokAI BOOST: 東海国立大学機構次世代A I 人材育成事業
奈良先端科学技術大学院大学	加藤 博一	次世代A I 分野におけるイノベティブ博士人材支援プロジェクト (NAIST Granite-AI)
広島大学	土肥 正	広島大学創発的次世代A I 人材育成・支援プロジェクト
北陸先端科学技術大学院大学	飯田 弘之	未来創造次世代A I 博士人材育成プログラム
北海道大学	石森 浩一郎	ExcellenceとExtensionで次世代A I 社会を牽引する未来社会開拓者育成プログラム
横浜国立大学	森 辰則	多様なA I の共創により社会課題解決に挑む次世代A I 人材育成プロジェクト
立命館大学	徳田 昭雄	立命館先進研究アカデミー学生フェローシップ/次世代A I 分野プログラム (RARA×BOOST)
早稲田大学	鷲崎 弘宜	早稲田・次世代A I イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム

「国家戦略分野の博士後期課程学生の育成事業」運営委員会 委員一覧

役割	氏名	所属・役職
委員長	笠原 博徳	早稲田大学 理工学術院 教授
委員	尾形 哲也	早稲田大学 理工学術院 教授
委員	栗原 聡	慶応義塾大学 理工学部 教授
委員	黒橋 禎夫	国立情報学研究所 所長／京都大学 特定教授
委員	鈴木 潤	東北大学 言語 A I 研究センター 教授
委員	津田 宏治	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授
委員	橋本 隆子	千葉商科大学 商経学部 副学長／教授
委員	長谷山 美紀	北海道大学 副学長／大学院情報科学院 研究院長
委員	森 健策	名古屋大学 大学院情報学研究科 教授

(令和 6 年 3 月現在)

「次世代A I人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」公募概要

1. 事業の趣旨

博士後期課程における経済的不安とアカデミアや産業界を含む将来のキャリアパスが不透明であるため、博士後期課程への進学率が低下傾向にあります。またA Iの研究開発は、人間の知的作業に急速な変革をもたらし、産業、研究開発、教育、創作などさまざまな分野に波及し、イノベーションの源泉としてニーズが高いため、国際的に高度な専門性を持つA I研究人材の獲得競争が生じ、人材が不足している状況にあります。

本事業では、緊急性の高い国家戦略分野として、次世代A I分野（A I分野及びA I分野における新興・融合領域）を設定し、同分野に資する研究に取り組もうとする博士後期課程学生に対して、十分な生活費相当額（研究奨励費）及び研究費を支援することで、当該国家戦略分野の研究者層を厚くし、イノベーション創出や産業競争力を強化することを狙います。

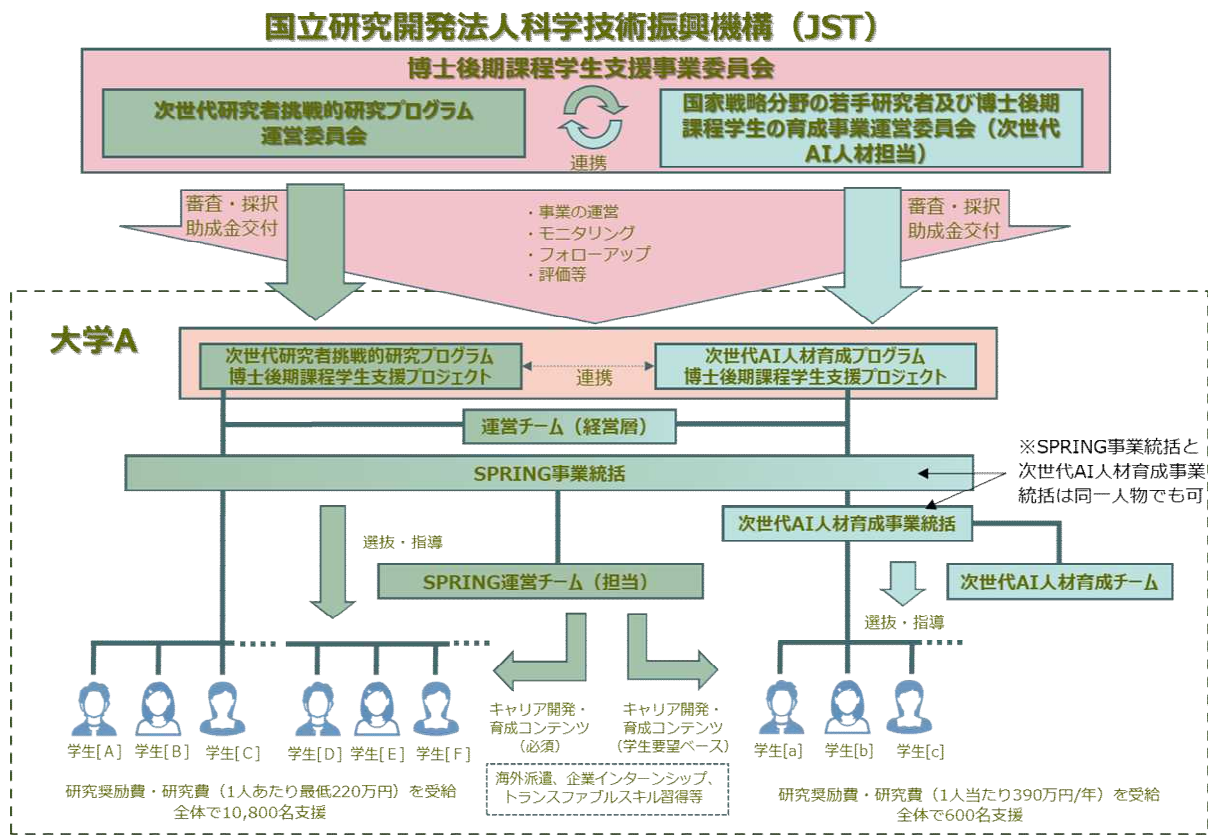
2. 事業の概要

大学は、次世代A I人材博士後期課程学生支援プロジェクトとして、研究科や研究室など既存の枠組みを越えて優秀な博士後期課程学生の選抜などを行う次世代A I人材育成事業統括を指名し、そのリーダーシップのもと、当該博士後期課程学生に対するさまざまな支援を実施・展開します。

当該事業統括により選抜された優秀な博士後期課程学生は、自身の自由で挑戦的・融合的な研究開発に専念するとともに、生活費相当額及び研究費の支給を受けます。さらに、次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）の採択大学においては、キャリア開発・育成コンテンツ（国際性の涵養（かんよう）、学際性の涵養、キャリア開発、トランスファラブルスキル^注）の習得、インターンシップなどを始めとするさまざまな支援の提供を、本プログラムで支援する学生に対しても行えるものとします。また事業統括は、各学生の研究開発成果などのフォローアップも行います。なお、これらの取り組みを円滑に実施するため、事業統括は自身の業務遂行を支える次世代A I人材育成チームを編成することとします。

注）トランスファラブルスキル

社会人に求められる能力のうち、特に転用・応用可能で、分野や業態を問わず活用するために必要となる汎用性の高いものを指す。



3. 事業の特徴

本事業では、事業統括を始め、次世代AI分野の高い専門性を持ち、研究室や大学の垣根を越えた有識者からなる次世代AI人材育成チームによる助言・進捗管理、そしてデータへのアクセスや共同研究の支援など、個々の選抜学生による活動だけでは実現できない研究環境の支援や、選抜学生を相互に刺激するような交流会の開催、研究開発の進捗管理などを行うことで、AI分野及びAI分野における新興・融合領域における卓越した博士人材を輩出することが期待されます。

4. 実施経費・実施期間

(1) 実施経費

博士後期課程学生1人あたり390万円/年を支援
(生活費相当額+研究費)

(2) 支援人数：全体で600人

(令和6年度～令和8年度支援開始(採用)分)

(3) 実施期間

令和6年度～令和10年度(原則)

(4) 募集期間

令和6年1月25日(木)～2月26日(月)正午